

AWS上にIT資産管理ツールを構築して 業務負担を解消。 さらに強固なサイバーセキュリティも構築。

情報システム部門を持たない企業様が、いかに安心安全な保守保全体制を築いたのか。



OHKAWA CORPORATION

社名：株式会社大川電機製作所
本社：東京都世田谷区桜新町2-11-20
創立：1951年12月11日
資本金：4,800万円
従業員数：182名（2022年10月現在）

事業内容：
主に半導体製造分野や航空宇宙分野、
通信機器分野向けに精密機械加工部品を受注生産。
高度で緻密なオーダーに応えつづける優れた金属切削技術で、
先端産業の発展に貢献しています。

株式会社 大川電機製作所
生産技術部 部長

関 勝儀 氏



事例のポイント

AWSのクラウドによるIT資産管理システム。
それが実現した可視化とセキュリティ性がもたらしたもの。

課題

- IT資産管理、トラブル対応の負担軽減
- サイバーセキュリティの強化

対策

- クラウド基盤上に構築したIT資産管理システムを利用
- クラウド基盤上の仮想ルータによって各拠点との接続を実現

成果

サーバー
管理の
負担解消

IT資産の
状況を的確に
把握

ITトラブル
への対応
迅速化

事業
継続性の
向上

導入前の背景と課題

デジタル環境のトラブル対応負担軽減とセキュリティ強化をめざして

卓越した金属切削技術を駆使した精密機械加工部品で、半導体製造分野や航空宇宙分野、通信機器分野といった先端産業を支える株式会社大川電機製作所様。今回お邪魔した福島工場は、そうした製品の大半を製造する基幹生産拠点と言えるでしょう。

この福島工場で、工作機械を動かす製造プログラムを始めとしたソフトウェアや PC、そして東京本社を含む 4 拠点のサーバーなどの管理を生産技術部部长という本職のかたわら1人で担ってきたのが、関勝儀氏でした。言わば、あらゆる業務運営の心臓部をワンオペ状態で、しかも兼務という形で管理してきた、その精神的負担の大きさは想像に難くありません。

「ネットワークなどにひとたびなにか問題が起きれば、機械が止まるなど、業務の停滞、遅延はまぬがれません。しかも当時は不具合が起きた PC のところ

に実際に見に行かなければならなかったのです。それでも原因がわかれば対処もできるのですが、その原因究明に膨大な時間がかかり、いくら調べても解明できず、もうすべて投げ出して帰ってしまおうかと思ったことが何度もありました」。そうした状況のなか、自分に何かあったら会社はどうなるのか、そう考え、サブのスタッフをつけてもらいましたが、やはりトラブル発生への懸念は拭えなかったそうです。

さらに、そのデジタル環境への不安を膨らませたのがコロナ禍でした。「テレワークが増えるとともに、社会でハッカーなどのサイバー問題も激増したころでした。我が社にもそうした者が侵入してきたら大変なことになる。」そう考え、セキュリティ強化が急務という意識から、IT 資産の管理システム導入とクラウドによるその運営を決意したそうです。

選択のポイント

安全性・信頼性の高さと回線トラブル対応の真摯さを評価

「最初はサーバーを増設するか、クラウドにするかで迷っていました。東北ではまだクラウドがそんなに浸透してはいませんでした。しかし、サーバー管理の手間はやはり省きたいという思いと、これまで経験していないクラウドを導入することで、新しい領域に一步踏み出せるのではないかと考え、決めました」。そう語る関氏、クラウド選定にあたって最重要視したのが安全性でした。

「たとえばクラウドで管理する製造プログラムなどは製品をいかに精密に、いかに早く作るかといった、言ってみれば我が社のノウハウが詰まった機密情報の塊です。そうしたことから、まずはセキュリティ性を念頭に信頼度の高いメーカー最優先で、その上でコスト面も含め中松商会が強く推薦したこともあって、

AWS (Amazon Web Services) の採用を決定しました」。

また、AWS 導入時のトラブル対応が、関氏の心には印象に残っているようです。「社内ネットワークとAWSがうまく同期できず、なかなか繋がらなかったのです。福島が繋がっても東京が繋がらない、東京が繋がっても名古屋が繋がらないといった感じで。全社のネットワークを止めるために夜間の対応作業となるわけですが、予定時間が過ぎても繋がらず、結局 2ヵ月ほどかかりました。しかし、中松商会の SE の方が毎日毎日手を変え、品を変え、いろいろと対応してくれて、その必死さが伝わってきました。おかげで繋がってスタートできたときは、心から感謝の気持ちが湧いてきました」。

導入後の成果

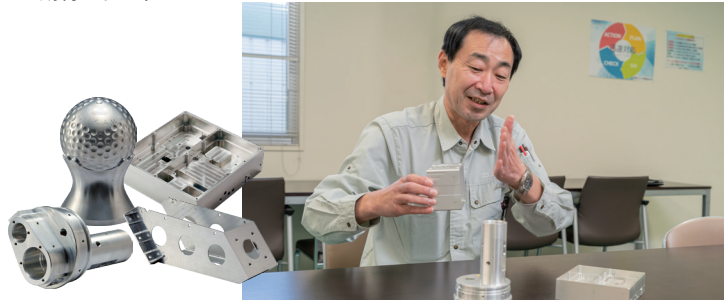
IT資産の可視化と技術的知識不要の安心感で、保守保全への懸念を解消

「導入後、それ以来 AWS 上のトラブルは起きていません。もちろん社員の PC やネットワークの不具合は起きますが、以前のようにわざわざその PC のところに行く必要もなく、リモートで対応できるようになったのは助かりますね。それによって社員へのサポートも迅速化したので、仕事がスムーズになったとよく言われます。また、各 OS のセキュリティパッチの運用状況やソフトウェアのインストール状況の可視化によってお客様対応も向上、信頼度も高まったようです。そして私自身も本職により集中できるようになったのはなによりですよ」。と笑う関氏、

さらに現在は、クラウドの拡張を計画しているそうです。「古くなったサーバーを順次クラウドに切り替えようと考えています。セキュリティ性も高いし、サーバー管理の手間もなくなる。BCP (事業継続性) の観点からも安心感が違いますし。そしてとにかく技術的知識がいらぬというのが大きいですね。トラブル処理やアップデートなどもすべて任せられますから」。

また、今後は社のさらなるデジタル化も視野に入れ、プロジェクトをスタート

したと語ります。「間接部門の IT 化による作業効率向上、属人化の解消、DX の推進による多能工化および省人化を図るべく業務効率化プロジェクトを立ち上げたところ。今回導入した AWS も、そうしたデジタル化に対して有効な武器となってくるはず」。クラウドコンピューティングの持つ可能性。それが、日本を代表する精密部品開発企業の可能性を、さらに広げることが期待されます。



※本事例の内容は 2022 年 10 月 19 日取材時点のものです。

お問い合わせは、下記へ

株式会社 中松商会

<https://www.nakamatsu.co.jp/inquiry/>



※記載されている内容は予告なしに変更される場合があります。
※記載されている会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。